

農業農村整備事業とその豊かな恵み～過去、現在、未来～

農村振興局整備部設計課

開催日：令和2年10月5日(月)～10月9日(金)＜5日間＞開催

来場者：420人

内容：①農業農村整備事業の目的や歴史について、過去、現在、未来の形式でパネル展示、②事業実施地区で収穫された農産物及びその加工品の展示等、③農業農村整備事業に関する動画の上映や体験模型等の展示を行いました。古来より、かんがい施設や農地の整備が地域の発展を支えてきた歴史(過去)、土地改良がもたらした豊かな恵み(現在)、これからの土地改良と最先端技術(未来)をご紹介することにより、農業農村整備事業について深くご理解いただきました。



農業農村整備事業の目的や歴史について解説したパネルを展示し、パンフレットを配布



農研機構が開発した、水管理を遠隔・自動管理する「ほ場水管理システム」の模型を展示・説明



バーチャルリアリティ（VR）装置を用いて、来場者が自動運転田植え機等を疑似体験



農業農村整備事業の実施地区で収穫された加賀れんこん、ねぎ、かぼつくりなどの農産物やその加工品を実物展示



農業農村整備事業に関する動画を放映し、来訪者からの質問について、ていねいに説明する展示担当者



ダムを紹介する「ダムカード」、農産物と農業水利施設のつながりを紹介する「水の恵みカード」をパネル展示、最後に展示のアンケートを実施